

「重要有形民俗文化財 菅谷たたら山内保存修理工事」について

1. 保存修理工事に至る経過

雲南市吉田町吉田に所在する国指定重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」に所在する建造物は、いずれも経年の劣化や積雪の影響によって、木部の腐朽が進行していました。

とくに高殿や元小屋の老朽化が著しく、屋根の劣化によって雨漏りが生じるなど、建物内部にも影響が及んでいて、早急な修理が必要な状況であったことから、平成 24 年度より国庫補助事業として 5 か年計画で保存修理工事が開始されました。

2. おもな修理箇所

①高殿

平成 24 年度工事において、経年による軸部や屋根の破損、劣化が見られ、建造物の保存に影響を及ぼす状況が判明したため、建物をほぼすべて解体し、修理を実施しました。

竣工の姿となる復原年代は、田部家による最後の操業が行われた大正 10（1921）年とし、操業停止後に改造された部分は、痕跡や史料等によって明らかになったもののみ、旧状に復することにしました。

11 月末に保存修理工事が完了し、一般公開を再開します。

②元小屋

経年による建物東側の屋根の腐朽が著しく、雨水の漏水の原因となっていました。また、南側の外壁は土壁が一部剥落していました。

これまでに、屋根葺き材や野地板、外壁、軸部の解体を実施しています。

③山内祠（金屋子祠・元山祠・牛頭天王祠・愛宕秋葉金毘羅祠）・拝殿

すべての祠について軸部の歪みが顕著であり、土台を中心に腐朽が進行しています。

今年度中に、屋根及び外壁等を一旦解体し、軸部を健全化する予定です

④米蔵

経年劣化が目立つ屋根葺き材の葺き替えと、腐朽箇所の部分的な繕いを行います。現状維持修理を基本とする予定です。

⑤長屋（二番屋敷・村下屋敷・三番屋敷）

経年劣化による建物西側及び南側の屋根の腐朽が著しく、雨水の漏水の原因となっています。また、当初の屋根はこけら葺きですが、劣化が進行し、現在では波板鉄板が吹かれています。外壁、内壁ともに土壁が一部剥落している箇所が多数見られます。軸部の歪みも確認されるため、屋根及び破損部を中心に壁を一旦解体し、軸部を健全化したうえで復旧する予定です。

3. 事業費

平成 24 年度・・・7 千 400 万円

平成 25 年度・・・1 億 5 千万円

平成 26 年度・・・8 千 500 万円（予定）

※平成 27 年度以降は未定